



“ Mood song Quick master ”

Complete music

By Shinichiro Ikazaki

いかざき伸一郎

「ムード歌謡クイックマスター」全曲集

「ムード歌謡」は、この1枚から世界に広がる

“ Mood song ” expands from this one to the world

Men sing “emotion of adult women”. That is “ Mood song ”
As a definition of “Mood song”, it is assumed that “Male
singers sing a woman’s heart”. In the world, there are few
examples, so it is a unique culture of Japan. Therefore. I would
like people in the world to know “Mood song”.
I look forward to when you sing “Mood song” in karaoke.



■「伸一郎ライブ」

歌と、おもしろトーク
で構成した 15 分番組。

ごきげんいかがですか？ 歌手のいかざき伸一郎です。
ムード歌謡を歌ってます。
男性が女心を唄う。それが。「ムード歌謡」です。
世界では、あまり例がない、日本独自の文化です。
この「ムード歌謡」を後世に残したい。そのため。世界に広げる。
弁護士さんや税理士さんなら、そのために、政治家をめざすところですが、
社会保険労務士の、このカラオケ好きのオッサンは、歌手になりました。
そして、世界の人々に、すばやく「ムード歌謡」を歌っていただくため、
このCDをつくりました。
あなたがカラオケで「ムード歌謡」を歌うのを楽しみにしています。
よろしくお願いします。(深く礼)

いかざき伸一郎「ムード歌謡クイックマスター」全曲集

「ムード歌謡」は、この1枚から世界に広がる

1. 別ればなし（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
2. Story of farewell（「別ればなし」英語歌詞）
3. 関門海峡夏景色（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
4. Summer scenery of the Kanmon Strait（「関門海峡夏景色」英語歌詞）
5. 秋色の別れ（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
6. Farewell of autumnal color（「秋色の別れ」英語歌詞）
7. 直方の夜（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
8. Night of Nogata（「直方の夜」英語歌詞）
9. 意気地ナシカメムシ（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
10. Sissy without bugs（「意気地ナシカメム」英語歌詞）
11. 愛が欲しい（作詞：いかざき伸一郎／作曲：のりみ福本）
12. I want love（「愛が欲しい」英語歌詞）
13. 別ればなし（カラオケ）
14. 関門海峡夏景色（カラオケ）
15. 秋色の別れ（カラオケ）
16. 直方の夜（カラオケ）
17. 意気地ナシカメムシ（カラオケ）
18. 愛が欲しい（カラオケ）

■別ればなし

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

こんなに私を 抱くだけ抱いて
やさしい言葉で 説くように
君は まだまだ若いから
幸せにならなきゃダメだよと
捧げた時間も知らないで
そんな別れを告げた人
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

こんなに私を 抱くだけ抱いて
涙まじりの 顔をして
あなたは 強い女（ひと）だから
きっとひとりで生きれると
大人の女の弱さを知らないで
そんな別れを告げたヤツ
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

こんなに私を 抱くだけ抱いて
タバコをふかして言うノリオ
お互い 十分楽しんだ
いい思い出のまま終わろうと
遊びじゃないのを知ってるくせに
きっとマリエとできたのね
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

■ WAKAREBANASI

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Konnaniwatasio dakudakedaite
Yasasiikotobade tokuyouni
Kimiwa madamadawakaikara
Siawaseninaranakya damedayoto
Sasagetajikannmo siranaide
Sonnawakareo tugetahito
Anatani watasino
Nannigawakarute iunoyo

Konnaniwatasio dakudakedaite
Namidawajirino kaoosite
Anatawa tuyoihitodakara
Kiitohitoride ikireruto
Otonanoonnano yowasawosiranaide
Sonnawakareo tugetayatu
Anatani watasino
Nannigawakarute iunoyo

Konnaniwatasio dakudakedaite
Tabakoofukasite iuNORIO
Otagai jyuubunntanosinnda
Iiomoinomama owarouto
Asobijyanainoo siiterukuseni
kiitoMARIEto dekitanone
Anatani watasino
Nannigawakarute iunoyo

■別ればなし

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

こんなに私を 抱くだけ抱いて
やさしい言葉で 説くように
君は まだまだ若いから
幸せにならなきゃダメだよと
捧げた時間も知らないで
そんな別れを告げた人
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

こんなに私を 抱くだけ抱いて
涙まじりの 顔をして
あなたは 強い女（ひと）だから
きっとひとりで生きれると
大人の女の弱さを知らないで
そんな別れを告げたヤツ
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

こんなに私を 抱くだけ抱いて
タバコをふかして言うノリオ
お互い 十分楽しんだ
いい思い出のまま終わろうと
遊びじゃないのを知ってるくせに
きっとマリエとできたのね
あなたにわたしの
なにがわかるっていうのよ

■Story of farewell

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

You hold me so much , Very very so much
You said to me with kind words
You' re still young , still young
You have to ,to be happy
You don' t know time I gave you
You' re the one said such a thing
You never, You never
understand What I am

You hold me so much , Very very so much
You said, You said with tears
You' re strong ,the strong woman
You may live by yourself
You never know woman' s weakness
You' re the one say such a good-bye
You never, You never
understand What I am

You hold me so much , Very very so much
Norio smoke and said
We enjoyed each other enough
We gonna finish with nice memories
You know this is serious to me
Maybe you' re with Marie
You never, You never
understand What I am

■別ればなし

(WAKAREBANASI)

—Story of farewell— について

「別ればなし」は、私、いかざき伸一郎のオリジナル曲です。

私、いかざき伸一郎が、57年生きてきて、作詞家として初めて作詞し、歌手として初めて歌ったデビュー曲のムード歌謡曲です。それまで作詞の経験などまったくなかったので、自分にできるだろうか？と心配でしたが、案外すんなりできました（天才？）。

なぜいまさら、作詞し、歌手として歌うのか？と思う方もいらっしゃると思います。それは、世界に「ムード歌謡」を広めるためです。「ムード歌謡」は、日本の高度経済成長と共に発展し、「カラオケ」文化を発展させた、戦後日本の大人の社交場を支えた庶民文化であり、私たち断層の世代が幼いときより親しんでいた音楽、どこか懐かしい心の文化であります。

この「ムード歌謡」の文化の火を消さず、後世に継承するため、当初は、過去にヒットした魅力的な「ムード歌謡」曲を活用して、世界の人に、知ってもらおうと行動していましたが、いわゆる著作権などの問題で困難さを感じました。そこで、オリジナル曲を作ろうということで、私、いかざき伸一郎はムード歌謡曲「別ればなし」を歌うこととしました。

この「別ればなし」は、みなさんが、聴いて、歌って、踊れるようにと、歌詞の内容は少し重いですが、曲は快適なリズムにしています。

「ああ～、あの時、私の気持ちも分からないで、そんなトンチンカン別れ話をした、バカ男がいたな」と笑える雰囲気を目指しました。ぜひ、みなさんも、自分が経験した「トンチンカン別れ話」を替え歌にして、カラオケで熱唱していただいたらなと思います。

「ムード歌謡は、この1曲から世界に広がる」をキャッチフレーズに、これからも「別ればなし」を熱唱していきたいと思います。

あなたがカラオケで『「別ればなし」の替え歌』を歌うことを楽しみにしています。

いかざき伸一郎

Story of farewell—about

“Story of farewell ” is the original song of Shinichiro Ikazaki.

I, Shinichiro Ikazaki lived 57 years, first songwriting as a lyricist, is the mood song of the debut song that I sang for the first time as a singer. Until then I had never experienced lyrics, so can I do it myself? I was worried, but I was able to survive unexpectedly (genius?).

Why are you singing lyrics and singing as a singer now? There are also people who think. That is to spread “mood kayo” to the world. “Mood Kayo” is a common culture supporting the adult social gathering place of postwar Japanese who developed and developed the “karaoke” culture together with the rapid economic growth of Japan, and our generation of faults is more familiar than when we are young Music that I had, it is a nostalgic culture of mind.

In order to inherit the fire of the culture of this “mood kayo” without inheriting the fire of the “Mood Kayo”, initially, using the charming “Mood Kayo” song that hit in the past, we acted to make people around the world know Although it was difficult, I felt the difficulty due to problems such as copyright. So, I tried to sing a mood popular song “Story of farewell ”, because I tried to make original songs.

Although this lyrics content is a little heavy, this song is a comfortable rhythm, so that everyone can listen, sing and dance, this “Story of farewell ”.

“Oh, at that time, I did not understand my feelings, I did a false talk like that, I had a fool,” aimed at a laughable atmosphere. By all means, everyone also wants you to sing a song in karaoke with the “Tonchin kan farewell” that I experienced as a parody.

I'd like to continue to sing “Story of farewell ” from now on as a catchphrase that “Mood Kayo spreads from this song to the world”.

You are looking forward to singing “Story of farewell ” in karaoke.

Shinichiro Ikazaki

■関門海峡夏景色

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

夕暮れせまる 海峡を背に
私はひとり 旅に出るわ
あなたの面影 胸に抱いて
ひとりこの町 はなれるわ
あなたはそっと 抱き寄せながら
言ったあの言葉 嘘なのね
私はそれを 信じてたのに
なんてあなたって ひどい人
悲しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡

あなたと行った 火の山にも
今 明（あ）かりが 灯（とも）ってるわ
あなたの声が 聞こえそうで
海に耳を つけたの
あなたにとって わたしはただの
港のやすらぎ だったでしょう
わたしにとって あなたは遠い
汽笛のあこがれ だったのよ
淋しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡

あなたはそっと 抱き寄せながら
言ったあの言葉 嘘なのね
私はそれを 信じてたのに
なんてあなたって ひどい人
悲しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡
関門海峡

■ KANMONKA I KYONATUGESIKI

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Yuuguresemaru kaikyou o seni
Watasiwa hitori tabinideruwa
Anatanoomokage muneni daite
Hitori konomachi hanareruwa
Anatawa sotto dakiyosenagara
Itta anokotoba usonanone
Watasiwa soreo sinnjitetanoni
Nante anatatte hidoihito
Kanasiidakeno saihateno umi
Kanmonkaikyo

Anato itta Hinoyamanim
Ima akariga tomotteruwa
Anatanokoega kikoesoude
Umini mimio tuketano
Anatani totte watasiwa tadano
Minatono yasuragi dattadesyou
Watasini totte anatawa tooi
Kitekino akogare dattanoyo
Samisiidakeno saihateno umi
Kanmonkaikyo

Anatawa sotto dakiyosenagara
Itta anokotoba usonanone
Watasiwa soreo sinnjitetanoni
Nante anatatte hidoihito
Kanasiidakeno saihateno umi
Kanmonkaikyo
Kanmonkaikyo

■ 関門海峡夏景色

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

夕暮れせまる 海峡を背に
私はひとり 旅に出るわ
あなたの面影 胸に抱いて
ひとりこの町 はなれるわ
あなたはそっと 抱き寄せながら
言ったあの言葉 嘘なのね
私はそれを 信じてたのに
なんてあなたって ひどい人
悲しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡

あなたと行った 火の山にも
今 明（あ）かりが 灯（とも）ってるわ
あなたの声が 聞こえそうで
海に耳を つけたの
あなたにとって わたしはただの
港のやすらぎ だったでしょう
わたしにとって あなたは遠い
汽笛のあこがれ だったのよ
淋しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡

あなたはそっと 抱き寄せながら
言ったあの言葉 嘘なのね
私はそれを 信じてたのに
なんてあなたって ひどい人
悲しいだけの 西果て（さいはて）の海
関門海峡
関門海峡

■ Summer scenery of the Kanmon Strait

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Almost twilight against the Kaikyo
I' ll go for a trip by myself
I have your look in my heart
I' ll leave this town alone
When you hold me very gently
You said the word but it' s not true
I believed that absolutely
You' re such a bad, Dear person
Just sad , the farthest sea
Kanmonkaikyo

I went to Hinoyama with you
It lights up, Just like that time
I seem to hear your voice
and touch my ear on the sea
My presence in your life was to you ,
was just a calm harbor deep and blue
You presence in my life was everything to me
You were a ideal whistle
Just sad , the farthest sea
Kanmonkaikyo

When you hold me very gently
You said the word but it' s not true
I believed that absolutely
You' re such a bad, Dear person
Just sad , the farthest sea
Kanmonkaikyo
Kanmonkaikyo

■ 関門海峡夏景色

(KANMONKAIKYONATUGESIKI)

— Summer scenery of the Kanmon Strait について

「関門海峡夏景色」は、私、いかざき伸一郎のオリジナル曲です。デビュー2曲目のムード歌謡曲です。

「関門海峡夏景色」とその曲名を聞くと、みなさん、歌手の石川さゆりさんのヒット曲の「津軽海峡冬景色」に似てますネ。と言います。もちろん、パクッてます。私、いかざき伸一郎、「津軽海峡冬景色」、大好きな歌です。ですから、そんな歌をつくりたいと、意識して「関門海峡夏景色」をつくりました。

ただ、それだけではありません。「夏景色」に、こだわる真の理由があります。そのためには、「関門海峡夏景色」の歌詞に秘められた意味を理解していただく必要があります。歌の出だし「夕暮れせまる海峡を背に私はひとり旅に出るわあなたの面影胸に抱いてひとりこの町はなれるわ」に秘めたのは、「西へ行く人を慕いて東行く・・・」、東行、つまり高杉晋作（あにき）を意識しています。高杉晋作（あにき）は、私たち下関人（馬関人）にとっては、心の底から尊敬ということを超えた大好きな人物です。高杉晋作（あにき）が、頭を丸めて名も「東行」と改めたのが、1863年（文久3年）。下関戦争や奇兵隊創設など、この年から、関門海峡を起点として、時代は大きく動きはじめました。吉田松陰（先生）が死を目前にして書いた「春夏秋冬」で例えるなら、この時の馬関（関門海峡）は夏の季節、その時の激動の景色をこの「関門海峡夏景色」で表現したかったのです。そして、この曲の歌詞の最後は、「悲しい（淋しい）だけの西果て（さいはて）の海 関門海峡」と閉めています。ご存知のとおり、関門海峡は決して、最果てでも西の果てでもない海です。ここでは、関門海峡を悲しみ（淋しさ）の西の果てとし、東へ進もう、つまり希望、夢、愛、喜び等をつかむために東へ行くのです。を言っています。どんなに苦境に立たされても、前向きに進もうとする長州人の気質を表現しています。

あなたがカラオケで『関門海峡夏景色』を歌うときを楽しみにしています。

いかざき伸一郎

Summer scenery of the Kanmon Strait—about

"KANMONKAIKYONATUGESIKI" is, I, is the original music of Shinichiro Ikazaki . Debut 2 is a song of mood popular song.

On hearing the Song Title as "KANMONKAIKYONATUGESIKI", everyone, similar to the "Tsugaru Strait winter scenery" of Sayuri Ishikawa's hit song of the singer it. Is called. Of course, it Paku'. I, Shinichiro Ikazaki , "Tsugaru Strait winter scenery", is a love song. So, I want to make such a song, I made a "KANMONKAIKYONATUGESIKI" conscious. However, there is a real reason to stick to the word "Summer scenery ". To do this, you'll need to understand the meaning that has been hidden in the lyrics of "KANMONKAIKYONATUGESIKI". Song of onset, "the dusk approaching Strait to back me is alone this town I go on traveling alone hugging your vestiges chest become I" was hidden in the, go east Want a person to go to "the West... ", we are conscious eastbound, that is, the Shinsaku Takasugi. Shinsaku Takasugi is, for us Shimonoseki people (Umaseki people), is a favorite person that goes beyond the fact that respect from the bottom of my heart. Shinsaku Takasugi is, also name rounded the head was renamed as "eastbound", 1863 (1863 years). Such as Shimonoseki war and kiheitai founding, from this year, as a starting point the Kanmon Strait, era began movement greatly. If the analogy with Shoin Yoshida wrote in the verge of death, "Spring, Summer, Fall, Winter ...", this time of horse Organization (Kanmon) is, to express the summer season, the upheaval of the scenery at that time in this "Kanmon Strait Natsukeshiki" I wanted was you. And, the last of the lyrics of this song, we close with the "sea Kanmon Strait of sad (lonely) only of the West End (farthest)". As you know, Kanmon Strait is never, it is the sea nor in the west of the ends in the farthest. Here, the west end of the sadness (loneliness) the Kanmon Strait, will Susumo to the east, that is hope, a dream, you go to the east in order to seize the love, the joy, and the like. You liked. Even if no matter how dire straits, to express the Choshu people of temperament to be Susumo positively.

You are looking forward to when you sing "KANMONKAIKYONATUGESIKI" in karaoke.

Shinichiro Ikazaki

■秋色の別れ

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

突然の別れに 心はブルー、ブルー
いつまでも めそめそしちゃダメね
山をいろどる カエデのように
赤く燃える 恋をするわ
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

お別れの言葉に 心はブルー、ブルー
きっと あなたを忘れてやるわ
コバルト色した 海のような
心のひろい 人をさがすわ
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

引きずる想いに 心はブルー、ブルー
あしたこそ 明るく上むいて
天に広がる 青空のような
高くさわやかな 人と出会うの
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

■ AKI IRONOWAKARE

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Totuzenno wakareni kokorowa buruu buruu

Itumademo mesomeso sitya damene

Yamawa irodoru kaedenoyouni

Akakumoeru koio suruwa

Samui kurai kurai

Fuyuni narumaeni

Owakareno kotobani kokorowa buruu buruu

Kitto anatao wasureteyaruwa

Kobarutoirosita uminoyouna

Kokorono hiroi hitoo sagasuwa

Samui kurai kurai

Fuyuni narumaeni

Hikizuruomoini kokorowa buruu buruu

Asitakoso akaruku uemuite

Tennni hirogaru aozoranoyouni

Takaku sawayakana hitoto deauno

Samui kurai kurai

Fuyuni narumaeni

■秋色の別れ

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

突然の別れに 心はブルー、ブルー
いつまでも めそめそしちゃダメね
山をいろどる カエデのように
赤く燃える 恋をするわ
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

お別れの言葉に 心はブルー、ブルー
きっと あなたを忘れてやるわ
コバルト色した 海のような
心のひろい 人をさがすわ
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

引きずる想いに 心はブルー、ブルー
あしたこそ 明るく上むいて
天に広がる 青空のような
高くさわやかな 人と出会うの
寒い、暗い、C r y（クライ）
冬になる前に

■Farewell of autumnal color

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Suddenly you said good-by
My heart is blue, blue,
I shouldn' t cry anymore
Like maples that color mountains
I' ll be in love burningly
Cold, dark, cry
Before it' s winter

In the words of farewell
My heart is blue, blue,
Maybe I will forget you
Like sea that is cobalt color
I will find someone who are generous
Cold, dark, cry
Before it' s winter

To feelings trailing
My heart is blue, blue,
Tomorrow I wanna look up positively
Like the blue sky spread
I will see someone who are nice
Cold, dark, cry
Before it' s winter

■秋色の別れ

(AKIIRONOWAKARE)

—Farewell of autumnal color について

秋色って、なに色??と、ツッコまれそうなタイトルの歌ですが、秋色としか答えられません。秋って、四季の中で一番、色を意識できる季節ですね。赤や黄色のもみじ、青い空や海、黄金色の稲穂などなど。澄み切った空気の中で、鮮やかに目に飛び込んできます。失恋した何とも言えない気持ちの心の中では、悲しい色として鮮やかに映るものかもしれません。歌の世界では、そういうイメージの歌詞が多いように思われますが、この歌では、失恋した心の中の秋色を「前向き」に表現しました。「苦境に立たされても前向きに生きようぜ」をテーマにしました。

男性に比べ、女性の方が人生の幅が広いように感じます。仕事、美貌、恋愛、結婚、出産、育児、家庭、近所付き合い、介護などなど。すべての場面で前向きに頑張らないといけないし、そして頑張る。そういう女性は、男性から見ると、ときどき、かわいらしくなく、物足りなさを感じさせたりもします。

この歌の主人公の女性もそうなんです。美しく頑張り屋さん。突然の別れを告げられ、戸惑いと、何とも言えない気持ちの中でも前向きに行動しようとする。その前向きさを応援したく、曲は快適なリズムにしています。

ぜひ、この曲を聴いて、歌って、そして、踊ってください。

あなたが、この曲を聴いて、歌って、そして、踊っていただくことを願っています。

いかざき伸一郎

Farewell of autumnal color—about

What is autumn color? Is it? And, although it is a song of a title which is likely to be Tsukko, I can answer only the autumn color. Autumn is the most seasonal season, color can be conscious. Red and yellow maple, blue sky and sea, golden rice ear etc etc. In the clear air, I jump into my eyes vividly. In the heart of a heartbreaking heart that has broken heart, it may be reflected vividly as a sad color. In the world of songs, it seems that there are many lyrics of such images, but in this song I expressed the fall colors in my heart broken-hearted as "forward-looking". "Let's live positive notwithstanding the predicament" was the theme.

Compared to men, women feel more like their lives. Work, beauty, romance, marriage, childbirth, childcare, family, neighborhood relationship, nursing care, etc. I have to work positive positively in every situation and I will do my best. Such women, sometimes from the men's point of view, are not pretty, they also make me feel unsatisfied.

This is the main character of this song. A beautiful and hard worker. Suddenly say goodbye, trying to behave positively, even with embarrassment and indescribable feelings. I want to support the positive attitude, the music makes it a comfortable rhythm.

Listen to this song, please sing and dance.

I hope that you listen to this song, sing it and dance.

Shinichiro Ikazaki

■直方の夜

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

きらめく夜空に あなたの愛が消えてゆく
わびしさに誘われ この街に来たの
路地裏の小さな 明かりを灯す
酒場で一人 夢に酔う
直方の夜 直方の夜
あなたと思い出の街

突然の雨が わたしの胸をまた冷やす
あなたの馴染みの 席（イス）で雨宿り
にぎやかな笑いも 音痴（はずれた）歌も
頭は白いが おなじ顔
直方の夜 直方の夜
あなたとぬれた街

遠賀の川辺に 咲き乱れるチュリップ
見たくて ふらりと歩いてみたの
出会ったお店の 更地をみると
なみだの向こうで 笑ってる
直方の夜 直方の夜
あなたに恋した街
直方の夜 直方の夜
あなたと思い出の街

■ NOOGATANOYORU

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Kirameku yozorani anatano aiga kieteyuku

Wabisisani sasoware konomachini kitano

Rojiurano tiisana akario tomosu

Sakabade hitori yumeni you

Noogatano yoru Noogatano yoru

Anatato omoideno machi

Totuzenno amega watasino muneo mata hiyasu

Anatano najimino isude amayadori

Nigiyakana waraimo hazureta utamo

Atamawa siroiga onaji kao

Noogatano yoru Noogatano yoru

Anatato nureta machi

Ongano kawabeni sakimidareru tyurippu

Mitakute furarito aruitemitano

Deatta omiseno sarachio miruto

Namidano mukoude waratteru

Noogatano yoru Noogatano yoru

Anatani koisita machi

Noogatano yoru Noogatano yoru

Anatato omoideno machi

■直方の夜

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

きらめく夜空に あなたの愛が消えてゆく
わびしさに誘われ この街に来たの
路地裏の小さな 明かりを灯す
酒場で一人 夢に酔う
直方の夜 直方の夜
あなたと思い出の街

突然の雨が わたしの胸をまた冷やす
あなたの馴染みの 席（イス）で雨宿り
にぎやかな笑いも 音痴（はずれた）歌も
頭は白いが おなじ顔
直方の夜 直方の夜
あなたとぬれた街

遠賀の川辺に 咲き乱れるチュリップ
見たくて ふらりと歩いてみたの
出会ったお店の 更地をみると
なみだの向こうで 笑ってる
直方の夜 直方の夜
あなたに恋した街
直方の夜 直方の夜
あなたと思い出の街

■Night of Nogata

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Your love will disappear in the glittering night sky
I was invited by wariness and came to this town
Light a small light behind the alley
Drunk on a dream alone at a bar
Night of Nogata Night of Nogata
The city of memories with you

Sudden rain chills my heart again
Rain shelter at your familiar seating
Lively laughter and tone deletion songs
Head is gray hair but the same face as before
Night of Nogata Night of Nogata
A city I love with you

Tulip blooming on the river side of Onga
I tried walking with a desire to see it
Looking at the vacant lot of the store I met you
While I cry you are laughing Memories are rising
Night of Nogata Night of Nogata
The city I missed you
Night of Nogata Night of Nogata
The city of memories with you

■直方の夜

(NOOGATANOYORU)

—Night of Nogata について

「直方の夜」は、いわゆる福岡県直方市の飲み屋街を舞台とした「ご当地ソング」です。「ご当地ソング」とは、歌のタイトルや歌詞に都市名・地方名を取り入れた曲で、そのほとんどは、夜の繁華街や飲み屋街を舞台としており、地方色や郷愁などを前面に打ち出し、ムード歌謡には、なくてはならない存在です。「ラビユー東京」「コモエスタ赤坂」「よこはま・たそがれ」「柳ヶ瀬ブルース」「そして神戸」「長崎は今日も雨だった」「中の島ブルース」などなど。多くのヒット曲があります。

それらの「ご当地ソング」は、日本の高度経済成長期のにぎやかな夜の繁華街や飲み屋街を舞台としていますが、この「直方の夜」は、今の時代の地方の飲み屋街、つまり、元気のない、人通りの少ない夜の街を舞台にしています。直方市に限らず、日本の地方の夜の飲み屋街は、そんな感じだと思います。

この「直方の夜」の主人公の熟年の女性は、そんな地方の夜の飲み屋街を訪れる。夫（またはパートナー）を亡くし、寂しいわけじゃないけど、心に隙間ができた感じで、昔、結婚する前に夫とよくデートをし、愛を育んだ街に。何十年かぶりに。そこには、今でもあるもの、今ではないものがあり、温かさと寂しさを実感しながら、心の隙間が懐かしい温かいもので徐々に埋まっていく。地方の飲み屋街には、そんな魅力があるのかも知れません。

「直方の夜」は、私、いかざき伸一郎のオリジナルムード歌謡曲です。

「ご当地ソング」といえば、内山田洋とクールファイブが好きなので、曲のイメージは、そんな風になっています。

じつは、ムード歌謡を支えてきたのは、地方の飲み屋街だと感じています。この「直方の夜」をきっかけに、みなさんの目が、地方の飲み屋街に向かい、昔のように、にぎわった街になればと思います。

あなたが地方の飲み屋街で『直方の夜』をカラオケで歌うときを楽しみにしています。

いかざき伸一郎

Night of Nogata—about

"Night of Nogata " is "local songs" set in the so-called bars in Nagata City, Fukuoka Prefecture. "The local song" is a song that incorporates the city name and the local name in the song title and lyrics, most of which are set in downtown areas and drinking streets of the night, launching local colors and nostalgia in the front , Mood Kayo is an essential existence. "Louvre Tokyo" "Comoesta Akasaka" "Yokohama · Twilight" "Yanagase blues" "And Kobe" "Nagasaki was raining today" "Nakanoshima blues" etc. There are many hit songs.

Those "local songs" are set in the bustling night downtown and drinking streets of Japan during the period of high economic growth, but this "Night of Nogata " is a regional drinking street of the present era, , Set in a town with no energy and low traffic. I think that it is such feeling, not only in Nagata-shi, but in the night's drinking-shop in the region of Japan. A woman who is a hero's main character in this "Night of Nogata " visits a drinking town in that region at night. I lost my husband (or partner) and I am not lonely, but I feel like I got a gap in my mind, a long time ago I went to a city where I met my husband well before my marriage and fostered love. For decades afterwards. There is something that is still, there is something that is not present, while realizing warmth and loneliness, the gap of the heart is gradually filled with nostalgic warmth. There may be such charm in local drinking streets.

"Nogata Night" is me, Shinichiro Ikazaki 's original mood songs.

Speaking of "the local song", Hiroshi Uchiyamada and Cool Five likes it, so the image of the song is like that.

Indeed, I feel that it is a local drinking street that has supported the mood songs. Based on this "Night of Nogata ", I think that everyone's eyes will head towards local drinking streets and become a crowded city like the old days.

I am looking forward to seeing you singing "Night of Nogata " at Karaoke in a local drinking street.

Shinichiro Ikazaki

■意気地ナシカメムシ

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

ネオン輝く世界で 生きているけれど
ほんとは 山が 好きな虫女なの
好きなあなたの そばにいて
虫の話を 聞いてほしいのに
それができずに ウジウジしてる
ネオンに花咲く蝶に なりたいわ
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

今夜も真っ赤なルージュ ひいているけれど
ほんとは 川が好きな虫女なの
ダイヤモンドも ほしいけど
ニシキにかがやく 虫がいい
それが言えずに モヤモヤしてる
ネオンに花咲く蝶に なれないの
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

強いかおりの香水を つけているけれど
ほんとは カメムシが好きな虫女なの
野山で 生きてみたいけど
同じにおいのあなたが 好きだから
小さなスナックで 今でもしがみつく
ネオンにかくれた虫でも しあわせよ
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

■ IKUJINASIKAMEMUSI

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Neonkagayaku sekaide iketeirukeredo
Hontowa yamaga sukina musijyonano
Sukina anatano sobaniite
Musino hanasio kiitehosiinoni
Soregadekizuni ujiujisiteru
Neonni hanasaku tyouni naritaiwa
Watasitte hontoni watasitte hontoni
Ikujinasikamemusi

Konyamo makkana ryujyu hiiteirukeredo
Hontowa kawaga sukina musijyonano
Daiyamondomo hosiikedo
Nisikini kagayaku musigaii
Soregaiezuni moyamoyasiteru
Neonni hanasaku tyouni narenaio
Watasitte hontoni watasitte hontoni
Ikujinasikamemusi

Tuyoikaorino koosuio tuketeirukeredo
Hontowa kamemusiga sukina musijyonano
Noyamade ikitemitainoni
Onajinioino anataga sukidakara
Tiisana sunakkude imademo sigamituku
Neonni kakureta musidemo siawaseyo
Watasitte hontoni watasitte hontoni
Ikujinasikamemusi

■意気地ナシカメムシ

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

ネオン輝く世界で 生きているけれど
ほんとは 山が 好きな虫女なの
好きなあなたの そばにいて
虫の話を 聞いてほしいのに
それができずに ウジウジしてる
ネオンに花咲く蝶に なりたいわ
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

今夜も真っ赤なルージュ ひいているけれど
ほんとは 川が好きな虫女なの
ダイヤモンドも ほしいけど
ニシキにかがやく 虫がいい
それが言えずに モヤモヤしてる
ネオンに花咲く蝶に なれないの
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

強いかおりの香水を つけているけれど
ほんとは カメムシが好きな虫女なの
野山で 生きてみたいけど
同じにおいのあなたが 好きだから
小さなスナックで 今でもしがみつく
ネオンにかくれた虫でも しあわせよ
私ってほんとに 私ってほんとに
意気地ナシカメムシ

■Sissy without bugs

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Current, I live in a shining world neon
Really is an insect woman who likes mountains
Stay by your side I like
I want you to hear the story of the insect
Impossible to do that, I'm Ujiuji
I want to be a flower blooming butterfly on neon
I truly truly am really myself
Sissy without bugs

Even tonight I have a bright red rouge though
Really is an insect woman who likes a river
I also want diamonds
but a insect is good for Nishiki
I can not say it, I'm Moyamoya
I can not become a butterfly that blooms neon
I truly truly am really myself
Sissy without bugs

Even tonight I have a strong scent of perfume
Really is an insect woman who likes bugs
I would like to live in the countryside
Because I like you of the same smell
I still cling to a small snack
Even if it is a bug hidden by neon, I'm happy
I truly truly am really myself
Sissy without bugs

■意気地ナシカメムシ

(IKUJINASIKAMEMUSI)

—Sissy without bugs について

「意気地ナシカメムシ」、へんなタイトルと歌詞の歌ですね。
でも、私、いかざき伸一郎が、いちばん歌いたかったオリジナルムード歌謡曲です。なんで？それは、私が虫好きだからです。しかも、山口県の「山口むしの会」の下関地区幹事、そしてカメムシ担当をしています。
世の中には、虫は嫌いだ！という人は、案外いますが、虫好きの人は、あまりいません。虫が好き、と聞くと「え〜」という顔をする人もいます。そんな顔をしなくても、虫の話には関心がないようです。男性ならまだしも、女性が虫好きだったら・・・（歌の中では、「虫女」と表現しています）。
今の時代、「山ガール」や「城女」などのマイナー？な趣味を持つ女性が、自身のアイデンティティを獲得しています。「虫女」も同じことが言えるはずです。まだまだ表に出てこない「虫女」が、たくさんいると思います（はっきり言えません）。そんな女性にエールをおくりたく、この歌をつくりました（おせっかいかもしれませんが・・・）。

「意気地ナシカメムシ」の「ナシカメムシ」は、クヌギカメムシ科のカメムシ。紫色を帯びた黒色をベースに、白色と緑色の紋があり、とても上品な美しいカメムシです。ただ、どこか弱弱しいイメージがあるので、私は「意気地ナシカメムシ」といっています。このカメムシは、桜の木にいます。桜の花は、華やかで、パッと咲いてパッと散る。それが、ネオン街を想像させるため（私だけかもしれませんが）、この歌では、ネオン街で働くとても上品で美しい虫女を主人公にしています。彼女は、周りの期待どおりに、華やかな世界で成功することを夢みる。だから虫女であることをカミングアウト出来ずにいる。でも、自分の心に素直になれることが、幸せだと気付く。そんな歌です。
この「意気地ナシカメムシ」で伝えたかったことは、「自分の意思と矛盾しない生き方って、大事よね」です。私、いかざき伸一郎が、「世界にムード歌謡を広める」ために、ムード歌謡歌手になった、きっかけの一言です。

あなたがカラオケで『意気地ナシカメムシ』を歌うときを楽しみにしています。

いかざき伸一郎

Sissy without bugs—about

"Sissy bugs ", songs with a bold title and lyrics.

But, I, Shinichiro Ikazaki is the original mood song that I wanted to sing the most. why? That's because I like insects. Moreover, I am in charge of the Shimonoseki district secretary of the "Yamaguchi Mushi no Kai" in Yamaguchi Prefecture, and I am in charge of bugs.

I hate insects in the world! Person who is unexpected, but there are not many people who love insects. Some people like "Oh ~" when asked that they like insects. Even without having such a face, I do not seem interested in talking about insects. If it is male, if the woman likes insects ... (In the song, it is expressed as "Mushi woman").

In this era, minor such as "mountain girl" or "castle woman"? A woman with a hobby acquires her own identity. "Mushi woman" can also say the same thing. I think that there are many "Mushi woman" that will not appear on the table yet (although it can not be said clearly). I wanted to send such a woman to this woman, I made this song (although it might be meddles ...).

"Pear bugs" of "Sissy bugs " is a bug of the owl bug. Based on a purple-colored black color, there are white and green crests, which are very elegant beautiful bugs. However, because there is a somewhat weak image, I am saying "Sissy bugs ". This bug is in a cherry tree. The cherry blossoms are gorgeous, blooming and scattering. To make it imagine Neon Street (maybe only me), this song uses a very elegant and beautiful insect lady working in Neon Street as the hero. She dreams of success in the ornate world, as expected. That's why you can not cum out what you are a bug. But I realize that I can be honest with my heart is happy. It is such a song.

What I wanted to convey at this "Sissy bugs " is "Living ways not contradicting my own intention is important". Me, Shinichiro Shirasaki is one word that triggered becoming a mood singing singer for "spreading mood songs to the world".

I am looking forward to seeing you singing "sissy pear bugs" at karaoke.

Shinichiro Ikazaki

■愛が欲しい

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

あなたを愛した あの日から
心は ロウソクのほのお
ゆらぐたびに 消えそうで
あなたが こわい
奪えない 人のために
心と時間 すり減らす
窮屈な 恋なんて
損なの わかってる
だけど 愛が欲しい
あなたの愛が すなおに好きだから
愛が 愛が欲しい
骨が折れるほど 抱きしめて

バスの ストップランプが
つかずに 行ってしまったの
私の心に とまらない
あなたが つらい
愛が増え 憎しみも
増える ギクシャク シーソーゲーム
わたしを 醜くする恋
終わりと 決めていた
だけど 愛が欲しい
あなたの愛が 憎しみ奪うから
愛が 愛が欲しい
泣きたくなるほど わがまま言わせて

愛が 愛が欲しい
骨が折れるほど 抱きしめて

■AIGAHOSII

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

Anatao aisita anohikara
Kokorowa rousokuno honoo
Yuragutabini kiesoude
Anataga kowai
Ubaenai hitonotameni
Kokorotojikan suriherasu
Kyuukutuna koinante
Sonnano wakatteru
Dakedo aigahosii
Anatano aiga sunaonisukidakara
Aiga aigahosii
Honegaoreruhodo dakisimete

Basuno sutoppuranpuga
Tukazuni ittesimattano
Watinokokoroni tomaranai
Anataga turai
Aigafue nikusimimo
Fueru gikusyaku siisougeimu
Watasio minikukusurukoi
Owarito kimeteita
Dakedo aigahosii
Anatano aiga nikusimiubaukara
Aiga aigahosii
Nakitakunaruhodo wagamamaiwasete

Aiga aigahosii
Honegaoreruhodo dakisimete

■愛が欲しい

歌手：いかざき伸一郎

作詞：いかざき伸一郎

作曲：のりみ福本

あなたを愛した あの日から
心は ロウソクのほのお
ゆらぐたびに 消えそうで
あなたが こわい
奪えない 人のために
心と時間 すり減らす
窮屈な 恋なんて
損なの わかってる
だけど 愛が欲しい
あなたの愛が すなおに好きだから
愛が 愛が欲しい
骨が折れるほど 抱きしめて

バスの ストップランプが
つかずに 行ってしまったの
私の心に とまらない
あなたが つらい
愛が増え 憎しみも
増える ギクシャク シーソーゲーム
わたしを 醜くする恋
終わりと 決めていた
だけど 愛が欲しい
あなたの愛が 憎しみ奪うから
愛が 愛が欲しい
泣きたくなるほど わがまま言わせて

愛が 愛が欲しい
骨が折れるほど 抱きしめて

■ I want love

KASHU : SINITIRO IKAZAKI

SAKUSI : SINITIRO IKAZAKI

SAKKYOKU : NORIMI FUKUMOTO

From that day I loved you
The heart is a candle flame
Every time it fluctuates, it seems to disappear
I am scared of you
For those who do not Steal
Wear out heart and time
I feel cramped love
I understand it's lost
But I want love
Because I love your love obediently
Want love I want love
Hug me very strongly

I had gone to the bus
without a stop lamp
You are hard for
my heart to stay
Hate will also increase
as love grows seesaw game
A love that makes me ugly
I decided it was the end
But I want love
Because your love deprives you of hatred
Want love I want love
The more I want to cry, Let me say selfish

Want love I want love
Hug me very strongly

■愛が欲しい

(AIGAHOSII)

ーI want love について

歌をつくるときは、みなさんが主役になるよう心がけています。

みなさんが聴いて、歌って、そして（チークのカッコウをする）踊れるように。でも、私、いかざき伸一郎が、今まで作詞した5曲のオリジナルムード歌謡曲に「チーク」を踊れる曲がない（自分がいちばん踊りたいのに）。

そこで、バラード系の曲として、この「愛が欲しい」をつくりました。

じつは、「愛が欲しい」には、隠された秘密があります。それは、私、いかざき伸一郎が大好きなムード歌謡4曲のタイトルや歌詞の一部を、歌詞の中に挿入しているということです。さて、そのムード歌謡曲とは？わかりやすいのは、「バス・ストップ」のタイトルです。残りの3曲は、「コモエスタ赤坂」「抱擁」そして「恋唄」です。歌詞のどの部分を使っているのか？一度ご確認ください。なんで、そんなことしたの？と思うでしょう。

それは、みなさんも含め世界の人に、過去の魅力的な「ムード歌謡」ヒット曲に触れていただきたいからです。私、いかざき伸一郎が、「ムード歌謡」を作詞し、歌手として歌うのは、「ムード歌謡」の文化の火を消さず、後世に継承するためです。ですから、私の曲だけでなく、過去にヒットした魅力的な「ムード歌謡」曲も、世界の人に知ってほしいのです。

歌詞の中で一番強調したかったのが、「だけど」という言葉です。

ミーティングなどで、ブレインストーミングを行うとき、「いや、だけど (No, but)」を使ってはいけないというルールがあります。アイデアが膨らまないからです。

「いや、だけど (No, but)」の後に、理屈じゃなく感情的な言葉が続けば、ミーティングは、ハチャメチャになってしまうでしょう。

「いや、だけど (No, but)」と「理屈じゃなく感情」、社会の中の人間としては、あまりよろしくないかもしれません。だけど、生物としての人間には、それが自然、「人間らしさ」なのかもしれません。・・・恋愛って、そんなもんでしょ？

あなたが『愛が欲しい』で、「チーク」を踊るときを楽しみにしています。

いかざき伸一郎

I want love—about

When trying to make a song, I try to make everyone a leading role.
Let's listen, sing, and (dance cheek cuckoo) for you to dance.
But, I, Shinichiro Ikazaki has no songs that can dance "Cheek" in the original five mood songs I wrote so far (I want to dance the most).
Therefore, I made this "I want love" as a ballad series song.
Actually, "I want love" there is a hidden secret. That means I, part of the title and lyrics of 4 mood songs favorite Shinichiro Shirasaki are inserted in the lyrics. Well, what is that mood popular song? The easiest thing is the title of "bus stop". The remaining three songs are "Como Esta Akasaka" "Hug" and "Koi Uta". What part of the lyrics are used? Please check once. Why did you do that? I guess.
Why did you do that? I guess.
Because I would like people in the world, including you, to touch the past attractive "Mood Kayo" hit songs. I, Shinichiro Shirasaki writing lyrics of "mood kayo" and singing as a singer is not to erase the fire of the culture of "mood kayo", to succeed to posterity. So I want people in the world to know not only my songs but also the attractive "Mood Kayo" songs that hit in the past.
What I wanted to emphasize most among lyrics is the word "but".
There is a rule that when using brainstorming at meetings, etc., "No, but," should not be used. Because the idea does not inflate. If "emotional" words continue after "No, but)", the meeting will become ha ha.
"No, but)" and "emotion rather than reason", as a human being in society may not be very good. But, for human beings as an organism, it may be natural, "humanity". ... Is love like that, is not it?

I am looking forward to dancing "Teak" with you "You want love".

Shinichiro Ikazaki

1. 別ればなし
2. Story of farewell
3. 関門海峡夏景色
4. Summer scenery of the
Kanmon Strait
5. 秋色の別れ
6. Farewell of autumnal color
7. 直方の夜
8. Night of Nogata
9. 意気地ナシカメムシ
10. Sissy without bugs
11. 愛が欲しい
12. I want love

